

令和6年  
2024年

11月13日  
水曜日

第11594号

# 食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日  
第三種郵便物認可

購読料（前納）  
年間 82,080円  
（税込み）  
6か月 42,120円  
（税込み）

本紙は関連企業・団体との  
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社  
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町18-1  
TEL03-3663-2011 FAX03-3663-2015

大阪本社  
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局  
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12  
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



江藤拓農林水産大臣が就任会見を行った……P2

- ▶ 江藤拓農水大臣が就任会見、「大胆に農政を運営する」…… P 2
- ▶ 佐藤社長「さらなる企業価値の向上を図っていく」丸大食品2024年3月期第2四半期決算説明会…… P 3
- ▶ 「カナダビーフ ロードショー」5年ぶりに開催 東京皮切りに全国3カ所まで…… P4～5
- ▶ 福留ハム中間決算は減収減益に、通期予想を下方修正…… P 5
- ▶ [牛肉需給動向・9月] 推定出回り量は前年比0.7%減…… P 6
- ▶ 鹿児島県肉牛枝共、鶴喰康行さん出品牛がGCに、福永産業が競り落とす…… P 6
- ▶ [豚肉需給動向・9月] 推定出回り量は前年比1.4%増…… P 7
- ▶ 月刊誌「ミート・ジャーナル12月号」で冷解凍機器に関する特集を企画、アンケート調査を実施中…… P7
- ▶ 滝沢ハムの第2四半期決算は増収減益、食肉の売上は堅調…… P 8
- ▶ 東京で松阪牛共進会、最優秀賞1席は伊藤牧場、中村畜産が購買…… P 8
- ▶ [資料]2024年9月分の食肉輸入通関実績⑬…… P 9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 12日…… P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 12日…… P11

## 注目のヘッドライン

### 江藤拓農水大臣が就任会見、「大胆に農政を運営する」

江藤拓農林水産大臣が就任後初めての会見を行い、今後の抱負や、子牛および枝肉価格の低迷に対する認識と対策を述べた。

…詳細はP2

### 丸大食品の2025年3月期第2四半期決算説明会

…詳細はP3

食の感動体験を創造することで  
世界中の人々と食をつなぎ続ける



<https://www.starzen.co.jp/>



<https://www.sfoods.co.jp/>

## 江藤拓農水大臣が就任会見、「大胆に農政を運営する」

江藤拓農水大臣(写真)が12日、就任後初めての会見を行った。冒頭、「わが国の農林水産業は、農地を守り山を守り、漁業を通じて国境を守るといった役割を担っており、国民の皆さまにとってかけがえのないものである。しかしながら、わが国の農林水産業を取り巻く環境は大きく変化している。ロシアのウクライナ侵攻による、小麦や飼料、肥料の価格高騰で国民生活は多大な影響を受け、生産現場も苦境に追い込まれた。また農林水産業従事者の高齢化、働き手不足も深刻。こうした変化に対応するため、改正された食料・農業・農村基本法に基づいた制度設計と予算確保が不可欠かつ急務であり、皆さまがやりがいと希望・夢を持って働ける農林水産業を実現するために、2万人の農林水産省職員と共に、現場の声に丁寧に耳を傾け全力を尽くしていきたい。」とあいさつ。

今後の抱負については「党の調査会長として基本法改正に深く関わってきた。改正の背景にはこれまでの農政を続けていくことが、農政の未来にはつながらないという思いがある。党内で改正に関わり、これからは省内の皆さんと実際の作業を進めていけることに非常にやりがいと責任を感じている」と意気込みを述べ「これまでのさまざまな法案決議や政策策定の場面においては、質疑・答弁は質疑時間が終われば与党の原案がそのまま通る場面が多かった印象を持たれているだろうと思う。もちろん自信と責任を持って提出しているものだとして理解はしているが、さらに熟議が必要な国会にすべきだろうと考えている。そして野党の先生方からも現実路線に立った、一定の責任を共有し合った政策提言をしていただけると信じている。そのために丁寧な質疑、丁寧な答弁を心がけて、農林水産委員会・予算委員会などさまざまな場面で熟議の国会だった、また多様な角度で多様な意見が取り入れられ、最終的には良いものに昇華されていった国会だったと思っていただけるようまい進したい」と語った。

就任に際して石破首相からの指示については「とにかく農政の取りまとめとして、これから5年間を集中的に構造改革の年にすべく、野党の先生方との対応も難しい部分もあるだろうが、丁寧に進めてほしいとの言葉をいただいた。一部では“農政通”と



いただいている私だが、そんな自己評価はなく、ただ農政を必死にやってきたというだけ。それだけに今の現状にフラストレーションもあるので、期待に応えられるように頑張りたい。ただ、これまでの農林水産省は既存の殻を破れなかった場面が多分にあった気がする。社会情勢を鑑み、現状が大転換点であるならば、その殻を破るべく思い切りとリーダーシップを持ち、『大胆に農政を運営する』ということをお伝えしたい」と述べた。

「子牛および枝肉価格の低迷に対する認識と対策」に質問が及ぶと「政治生活20年になるが、牛の競りには、できる限り足を運んできた」と話し、「だからこそ良かった時も悪かった時も知っている。肉用子牛生産者補給金の保証基準価格を56万4千円まで上げ、和子牛生産者臨時経営支援事業の見直しも行ったが、それでも現場の厳しさが続いていることは把握している。特に顕著なのが、繁殖現場の厳しさ。肥育生産者は子牛の導入の金額を下げればコスト抑えられる。しかし繁殖生産者はコストを下げようと思ったら餌を絞るしかない。餌を絞ると育ちが悪く、育ちの悪い牛は競り場で安い値で買い叩かれてしまい、手取りが減りさらに餌を絞る、もしくはあと2~3産させたい繁殖雌牛を肉用牛として出してしまふ。マイナス連鎖になっていることにたまらない辛さを感じている」と述べた。また自身の地元である宮崎県や鹿児島県の和牛文化を例に出し「石破内閣では『地方創生』に重点を置き、要であると提言している。もしこうした地域の和牛文化が駄目になってしまったら、和牛生産に連なる他業種を含め、地方はガタガタになってしまうだろう。地域経済を支えているといっても過言ではない日本各地の和牛生産は、なにが何でも守らなければならない」と危機感を露わにした。

## 佐藤社長「さらなる企業価値の向上を図っていく」 —丸大食品の2025年3月期第2四半期決算説明会

丸大食品は8日、大阪市北区のホテルグランヴィア大阪で2025年3月期第2四半期決算説明会を行った。会見には佐藤勇二代表取締役社長、森本芳史上席執行役員経理部長らが出席した。

冒頭、佐藤社長(写真)があいさつとともに中間決算概要について次のように説明した。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、景気は一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。一方で、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクや物価上昇、金融資本市場の変動の影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いている。このような状況の中、当社グループは、お客さまにより安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、企業活動を推進してきた。

まず当期の中間連結売上高についてご説明する。加工食品事業のハム・ソーセージ部門では、「燻製屋」シリーズやロースハム、ハーフベーコンの「いつも新鮮」シリーズを中心とした全12品の「TEAMJAPANパリ2024公式ライセンス商品」限定デザインを発売し拡販に努めた。また、応援キャンペーンの展開を通して、積極的な売上拡大に取り組んだことが大きく寄与し、売上高は順調に推移した。以上のことから、当部門の売上高は増収となった。調理加工食品部門では、外食産業向け業務用商品や、「ビストロ倶楽部濃厚カレー」などのレトルトカレー商品の売上高が堅調に推移した。新商品では、人気の韓国料理を手軽に作れる「韓国列伝」シリーズなどを投入し拡販に努めた。デザート・ヨーグルト類では、「SWEET CAFE プリンwith珈琲ゼリー」などの新商品の投入や、季節のこだわり素材を生かしたチルドデザート、量販店向け販売のヨーグルト等の売上拡大に努めた。以上のことから、当部門の売上高は増収となった。

食肉事業では、牛肉については、輸入牛肉の販売数量は減少したが、国産牛肉の販売拡大などを図り、量販店向け販売の売上高は堅調に推移した。豚肉については、輸入豚肉の販売数量は減少したが、



国産豚肉の販売に注力し、量販店・外食産業向け販売共に売上高は前年を上回った。

当中間連結会計期間における売上高は前年同期比3.9%増の1185億8200万円、営業利益は原材料価格高騰などのコスト増加要因があったが、価格改定や不採算商品の改廃、継続的なコスト削減に努めたことなどから94.4%増の28億8200万円、経常利益は80.8%増の31億4300万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、固定資産処分益20億1900万円を特別利益として計上したことなどから334.6%増の42億7200万円となった。当社グループでは、経営環境の変化に柔軟に対応すべく、24年4月を起点とする3カ年経営計画を発表している。新たな顧客価値を創造、収益構造の改革、事業領域の拡大、人材の育成、持続可能な社会への貢献という五つの基本方針の下、持続的な成長とさらなる企業価値の向上を図っていく。

森本上席執行役員による通期業績予想修正に関する説明内容は次のとおり。

通期の業績予想は、期初である24年5月13日に公表した予想値から変更した。売上高が2360億円(前期比3.1%増)、営業利益45億円(44.3%増)、経常利益49億円(34.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益47億円で増収増益を見込んでいる。輸入食肉の現地相場高、原材料価格の高騰、人件費、物流費などのコスト上昇が継続する中、消費者の節約志向が一層高まるなど、厳しい事業環境が続く見通しだが、上期が比較的順調に推移していること、構造改革を含むコスト削減に引き続き取り組むことなどを踏まえ、計画を見直した結果、通期業績予想を上方修正した。

## 「カナダビーフ ロードショー」5年ぶりに開催 東京皮切りに全国3カ所で

カナダビーフ国際機構は11日、「カナダビーフロードショー2024 in東京」を東京都中央区のコートヤード・マリオネット銀座東武ホテルで開催。約150人の関係者が参集した。

初めに清富一郎駐日代表(上写真)が「カナダビーフロードショーとして、各地でセミナーを行うのはコロナ禍前の2019年以来、5年ぶりだ。本日の東京を皮切りに、12日に名古屋、15日に福岡、最後は韓国で開催する。大阪や広島にも立ち寄り、各地のお客さまともミーティングを行う予定だ。円安や生体高により、現在はかなり厳しい事業環境にあるが、今回のロードショーが皆さまの今後のカナダビーフの販売促進に少しでも役立つことができれば幸いだ」とあいさつ。来賓からはイアン・マッケイ駐日カナダ大使からビデオメッセージが贈られた。さらに現地映像によるカナダビーフの優位性を紹介する動画が放映された。

プレゼンテーションでは、今回のロードショーのために来日した、カナダビーフ国際機構のアルバート・エリングフェルド副会長(国際市場担当、下写真)、同諮問委員会のチャド・ロス副議長とその妻のクリスタル・ロス氏、さらにオンタリオ子牛農家協会のジェニファー・ヘイリー エグゼグティブディレクターがそれぞれ講演。さらにカナダビーフを日本に供給するパッカーや団体がそれぞれ自社の特徴や取り組みについて説明した。

【アルバート・エリングフェルド副会長】カナダビーフ国際機構は、日本市場において1989年以来35年にわたり、カナダビーフのマーケティング活動を行ってきた。

カナダ産牛肉の生産量は、2022年に増加のピークを記録。23年の生産量は5年間の平均とほぼ同水準で、10年間の平均を8%上回った。ただ、24年の生産量は若干の減少傾向にある。さらに25年には、家畜のと畜数減少により、カナダ産牛肉の生産量はさらに減少する可能性が高い。現在はと畜頭数は減少しているが、と畜重量は増加しているため、生産量自体は維持されている。

カナダは牛の飼育頭数、牛肉生産量ともに世界全



体の2%を占める。世界の牛の生体輸出国の中で第3位、牛肉輸出国では第8位。穀物肥育牛肉の輸出量は世界第3位だ。23年の牛肉輸出量は56カ国合計49万8900t、輸出額は50億カナダドルに上った。輸出先としては、米国が最大の市場であり、日本、メキシコ、韓国、ベトナムなどがそれに続く。

23年の日本向け牛肉輸出量は4万5400t、輸出額は3億5200万カナダドルとなっている。主な輸出アイテムは、内臓肉、チャック、ブリスケット、フランク、リブなど。CPTPPにより、生鮮・チルド牛肉の関税は輸入量73万7500t以内については、33年までに9%まで引き下げられる。内臓肉に対する関税率は製品の種類によって異なり、33年までに0~9%の範囲で変動する。日本は、加工度の高い製品も含むすべてのカナダ産牛肉製品に対するアクセス権を保有している。

カナダ産牛肉の品質等級(脂肪交雑基準)の格付実績をみると、全体の76.7%が最高級のプライムとそれに次ぐAAAとなっており、高い等級の割合が年々高まっている。

カナダビーフでは、さまざまな優位性を伝えるため、バーチャルツアー(日本語字幕入り)をウェブサイ

トで公開。生産から肥育、加工の現場や環境対策、そしてカナダ産牛肉品質保証システムなどを動画で紹介している。

カナダ産牛肉のプロモーション・マーケティング支援については、デジタルマーケティング、需要喚起型のイベント、流通業界向け教育プログラム、政府トレード・コミッショナー・サービス(大使館商務部)、イベントによるマーケティングなどがあり、各プロジェクトはサプライヤーと市場パートナーが協議し、協働の下実行される。

また、ブランド化に向けた輸出市場開発パートナープログラムでは、カナダビーフ国際機構がプロモーションなどの費用の半分を負担する。具体的には輸出市場調査(市場への派遣)、輸出市場適応(視察受け入れ)、輸出市場多様化(展示会およびセミナー)、プロモーションおよびマーケティング(マーケティングキャンペーン)、競合他社ベンチマーキング(市場内ベンチマーキング)がある。(連載続く)

## 福留ハム中間決算は減収減益に、通期予想を下方修正

福留ハムが12日に発表した2025年3月期第2四半期連結業績によると、売上高123億1200万円(前年同期比2・8%減)、営業損失3億5100万円(前年同期は営業損失1億9900万円)、経常損失3億3100万円(経常損失1億7600万円)、親会社株主に帰属する中間純損失は3億4400万円(親会社株主に帰属する中間純利益2億9千万円)となった。セグメント別の業績は次のとおり。

【加工食品事業】売上高50億1400万円(前年同期比10・1%減)、セグメント利益500万円(95・3%減)。国内の人流とインバウンド消費の回復に伴う業務筋向けのウインナー群の大袋商品が堅調に推移したものの、物価高に起因する消費者マインドの低下により消費者の節約志向が一層厳しさを増し、量販店向け主力商品の販売量落ち込みや値上げの影響により、売上高は減少。また、利益についても販路の見直しと業務筋などへの販路拡大を推し進めるとともに原価圧縮や生産性向上に努めてきたが、原材料費や労働コストの上昇などにより、前年同期を下回った。

【食肉事業】売上高72億9700万円(2・9%増)、セグメント損失6500万円(前中間連結会計期間はセグメント損失1600万円)。輸入牛肉・豚肉が依然として高値で推移していることに加え、国産豚肉においても相場高により販売量が苦戦したが、輸入商材の代替品として乳牛切り落としや経産牛などが好調に推移。また、値頃感のある鶏肉へ需要シフトが強まり、鶏肉の販売拡大を図るなど、食肉事業全体の売

上高は増加した。利益については、海外輸入商品の仕入コスト高騰や為替の影響により、価格転嫁が十分にできず、前年同期を下回った。

また、5月14日に公表した25年3月期通期予想について、売上高252億円(前回発表予想260億円)、営業損失5億2千万円(営業利益1億円)、経常損失4億9千万円(経常利益8千万円)、親会社株主に帰属する当期純損失5億2千万円(親会社株主に帰属する当期純利益4千万円)に、それぞれ下方修正した。今中間連結会計期間の売上高については、昨年実施の価格改定や販路拡大に努めたものの、物価高に伴い消費者の節約志向がより一層厳しさを増し、前回予想を下回る結果となった。営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益についても、工場生産量の減少に加え、原材料や労働・物流コストの上昇により、前回予想を下回る結果となった。

通期業績については、年末ギフト・年末商戦をはじめとするハム・ソーセージ、デリカ商品の「競争力の強化」、生産性の向上と営業力強化による「生産量・販売量の拡大」に努めるとともに、加工品の新商品開発やコスト最適化に注力するものの、消費者の節約志向や同業他社との価格競争激化に加え、原材料価格やエネルギーコスト、労働コストなどのさらなる上昇により、厳しい経営環境継続が予想されるため、通期連結業績予想を修正する。

## [牛肉需給動向・9月] 推定出回り量は前年比0・7%減

農畜産業振興機構が発表した2024年9月分の牛肉需給動向によると、推定出回り量は6万7929t(前年同月比0・7%減)と前年同月を下回った。このうち国産品は2万7023t(1・1%増)と増えたが、輸入品は4万906t(1・8%減)で減少した。

国内生産量は2万8276t(0・6%増)と前年を上回り、輸入量も3万8168t(3・1%増)で増加。推定期末在庫は国産品が1万1298t(12・4%減)、輸入品が14万4550t(0・8%増)で、合計15万5848t(0・3%減)となった。

[牛肉需給]

単位:トン、%

年月	生産量	輸入量	推定期末在庫		推定出回り量			
			輸入物	国産物	輸入物	国産物		
4年	5	27,668(103.5)	57,663(110.4)	129,600(113.2)	12,818(96.6)	46,376(96.5)	26,872(104.4)	
	7	30,071(101.9)	51,999(100.0)	137,347(117.6)	13,252(97.5)	44,252(89.0)	28,991(101.8)	
	8	26,525(103.8)	53,506(99.5)	146,640(121.1)	13,243(96.8)	44,213(89.4)	25,876(104.6)	
	9	28,106(105.2)	51,912(102.7)	152,206(118.5)	13,633(95.4)	46,346(107.3)	27,015(106.5)	
	10	28,863(101.0)	48,609(88.1)	151,851(114.2)	13,096(89.6)	48,964(96.5)	28,569(103.5)	
	11	35,525(104.0)	39,413(92.4)	150,014(118.9)	12,699(89.7)	41,250(83.5)	35,235(104.2)	
	12	31,727(101.2)	37,456(82.0)	142,876(118.7)	12,690(93.9)	44,594(86.6)	30,858(99.3)	
	5年	1	26,660(103.5)	39,915(98.8)	143,273(118.1)	11,956(90.5)	39,518(100.1)	26,963(105.4)
		2	26,497(107.4)	37,987(100.6)	142,589(119.4)	12,345(87.7)	38,671(97.5)	25,467(109.1)
		3	29,499(103.4)	36,768(108.4)	137,128(119.6)	12,596(95.6)	42,229(109.2)	28,484(98.8)
		4	30,207(101.6)	67,921(110.4)	147,784(129.4)	12,371(104.8)	57,265(92.4)	29,694(97.1)
		5	27,295(102.1)	46,459(101.5)	148,317(125.4)	12,252(97.8)	45,926(110.3)	26,851(105.4)
6		28,418(102.7)	43,663(75.7)	148,065(114.2)	12,243(95.5)	43,915(94.7)	27,806(103.5)	
7		30,671(102.0)	38,693(74.4)	146,616(106.7)	12,474(94.1)	40,142(90.7)	29,809(102.8)	
8		26,782(101.0)	45,668(85.4)	148,038(101.0)	12,343(93.2)	44,246(100.1)	26,275(101.5)	
9		28,100(100.0)	37,023(71.3)	143,424(94.2)	12,902(94.6)	41,637(89.8)	26,739(99.0)	
10		30,422(105.4)	40,334(83.0)	137,851(90.8)	13,026(99.5)	45,907(93.8)	29,462(103.1)	
11		35,030(98.6)	33,409(84.8)	125,976(84.0)	12,805(100.8)	45,284(109.8)	34,409(97.7)	
12		31,557(99.5)	36,092(96.4)	117,207(82.0)	12,619(99.4)	44,861(100.6)	30,833(99.9)	
6年	1	27,314(102.5)	43,264(108.4)	122,238(85.3)	11,618(97.2)	38,233(96.7)	27,712(102.8)	
	2	26,904(101.5)	31,010(81.6)	117,666(82.5)	11,442(92.7)	35,582(92.0)	26,385(103.6)	
	3	28,696(97.3)	38,362(104.3)	111,229(81.1)	13,108(104.1)	44,799(106.1)	26,259(92.2)	
	4	31,124(103.0)	63,202(93.1)	124,210(84.0)	11,835(95.7)	50,221(87.7)	31,618(106.1)	
	5	28,270(103.6)	48,512(104.4)	128,998(87.0)	12,269(100.1)	43,724(95.2)	27,283(101.6)	
	6	27,418(96.5)	47,574(109.0)	135,344(91.4)	11,885(97.1)	41,228(93.9)	27,030(97.2)	
	7	32,089(104.6)	49,342(127.5)	140,727(96.0)	11,271(90.4)	43,959(109.5)	31,959(107.2)	
	8	25,885(96.6)	48,897(107.1)	147,288(99.5)	10,966(88.8)	42,336(95.7)	25,425(96.8)	
	9	28,276(100.6)	38,168(103.1)	144,550(100.8)	11,298(87.6)	40,906(98.2)	27,023(101.0)	

## 鹿児島県肉牛枝肉共、鶴喰康行さん出品牛がGCに、福永産業が競り落とす

鹿児島県肉牛枝肉共進会(主催=同県経済農業協同組合連合会、柚木弘文会長、出品80頭)が11日、同県南九州市のJA食肉かごしま南薩工場で開かれ、審査の結果、最高位のGC(グランドチャンピオン)に鶴喰康行さん出品の「茂仁」号(父「茂勝朗」、二代祖「安福久」、三代祖「百合茂」、枝肉重量約580kg、BMSNo.12)が輝いた。同氏の受賞は初めてで、競り最後のあいさつで同氏は「今後も飼養管理に努め、精進していきたい」と喜んだ。

他方、各農協単位の総合力を競う地区別団体戦は

GCを含め上位入賞牛を多数輩出したJA鹿児島いずみみか4連覇を達成。表彰式後の競りでは福岡県の牛肉卸、福永産業が税抜き単価8千円の最高値でGC牛を競り落としている。

その他、上位入賞牛出品者と購買者は次のとおり。カッコ内は落札単価。▷最優秀賞2席(マーケットニーズ賞)=林ファーム、ナンチク(5500円)▷同3席=木原大輔、JA全農ミートフーズ(4500円)▷同4席=立野畜産、ヨシオカ(4300円)▽同5席=竹中真紀、ナンチク(4100円)

**【豚肉需給動向・9月】 推定出回り量は前年比1・4%増**

農畜産業振興機構が発表した2024年9月分の豚肉需給動向によると、推定出回り量は14万6978t(前年同月比1・4%増)と前年を上回った。このうち国産品は6万9219t(0・4%増)、輸入品は7万7759t(2・4%増)といずれも増加した。

国内生産量は6万8773t(1・0%減)と減少、輸入量は7万8666t(27・4%増)と増加。推定期末在庫は国産品が2万1580t(0・6%増)、輸入品は20万1197t(1・1%減)で、合計22万2777t(1・0%減)となった。

[豚肉需給]

単位:トン、%

年月	生産量	輸入量	推定期末在庫		推定出回り量			
			輸入物	国産物	輸入物	国産物		
4年	5	73,193(98.9)	89,288(118.7)	192,277(118.4)	21,153(83.6)	73,970(102.2)	74,353(99.9)	
	7	67,437(94.3)	83,013(111.3)	200,051(124.5)	21,249(88.8)	75,239(98.5)	67,225(92.4)	
	8	70,557(99.0)	86,492(110.7)	207,966(125.6)	20,365(89.0)	78,577(107.3)	71,355(98.9)	
	9	72,765(96.8)	72,520(97.7)	204,472(123.6)	19,371(88.3)	76,014(102.3)	73,623(96.9)	
	10	75,549(98.2)	75,744(97.3)	196,107(121.5)	19,698(92.2)	84,109(102.7)	75,135(97.2)	
	11	81,110(98.6)	87,886(112.0)	195,556(126.4)	18,751(86.8)	88,437(103.9)	81,919(100.0)	
	12	79,677(97.0)	68,853(92.5)	185,413(127.3)	19,816(86.5)	78,996(94.6)	78,456(97.3)	
	5年	1	77,322(97.2)	74,837(90.7)	188,666(122.5)	18,538(79.8)	71,584(96.5)	78,645(99.4)
		2	72,986(98.9)	71,250(99.2)	189,121(121.2)	19,905(85.9)	70,795(101.4)	71,512(97.1)
		3	81,689(98.3)	69,027(96.1)	189,572(121.4)	20,232(84.3)	68,576(95.5)	81,215(98.8)
		4	73,794(96.8)	109,570(100.7)	204,045(120.0)	20,573(92.5)	95,097(100.2)	73,311(94.2)
		5	76,116(105.0)	89,729(115.9)	223,902(126.5)	20,193(90.0)	69,872(99.2)	76,372(105.8)
6		73,486(100.4)	81,311(91.1)	225,208(117.1)	19,586(92.6)	80,005(108.2)	73,928(99.4)	
7		68,264(101.2)	74,831(90.1)	220,067(110.0)	20,758(97.7)	79,972(106.3)	66,926(99.6)	
8		70,175(99.5)	73,862(85.4)	217,704(104.7)	21,032(103.3)	76,225(97.0)	69,796(97.8)	
9		69,500(95.5)	61,727(85.1)	203,477(99.5)	21,452(110.7)	75,954(99.9)	68,945(93.6)	
10		78,467(103.9)	70,100(92.5)	192,812(98.3)	19,689(100.0)	80,765(96.0)	80,065(106.6)	
11		82,650(101.9)	74,813(85.1)	184,253(94.2)	20,154(107.5)	83,372(94.3)	82,084(100.2)	
12		81,152(101.9)	67,663(98.3)	170,120(91.8)	21,381(107.9)	81,796(103.5)	79,774(101.7)	
6年	1	80,283(103.7)	72,027(96.2)	173,172(91.8)	20,836(112.4)	68,975(96.4)	80,748(102.7)	
	2	77,558(106.3)	64,527(90.6)	165,686(87.6)	21,439(107.7)	72,013(101.7)	76,853(107.5)	
	3	77,333(94.7)	74,351(107.7)	166,119(87.6)	23,117(114.3)	73,918(107.8)	75,518(93.0)	
	4	78,976(107.0)	98,780(90.2)	174,059(85.3)	22,670(110.2)	90,840(95.5)	79,317(108.2)	
	5	76,183(100.1)	94,087(104.9)	189,925(84.8)	24,239(120.0)	78,221(111.9)	74,520(97.6)	
	6	66,310(90.2)	81,660(100.4)	193,156(85.8)	24,750(126.4)	78,429(98.0)	65,692(88.9)	
	7	71,679(105.0)	86,155(115.1)	195,529(88.8)	23,227(111.9)	83,782(104.8)	73,101(109.2)	
	8	65,651(93.6)	84,078(113.8)	200,290(92.0)	22,108(105.1)	79,317(104.1)	66,675(95.5)	
	9	68,773(99.0)	78,666(127.4)	201,197(98.9)	21,580(100.6)	77,759(102.4)	69,219(100.4)	

**月刊誌「ミート・ジャーナル 12月号」で冷解凍機器に関する特集を企画、アンケート調査を実施中**

弊社発行の月刊誌「月刊ミート・ジャーナル」12月号では、冷凍・解凍機器に関する最新情報を取りまとめ、特集いたします。本特集の企画の中で、食肉業界の冷凍・解凍事情についてアンケート調査を行うこととなりました。つきましては、本紙読者の皆さまにも同アンケート調査にご協力をいただけますと幸いです。回答は、アンケートURL ([https://docs.google.com/forms/d/1QyavfJ5RO7KNbzunrSoE0vRa0BPWePsqNmqr7P\\_9suU/edit](https://docs.google.com/forms/d/1QyavfJ5RO7KNbzunrSoE0vRa0BPWePsqNmqr7P_9suU/edit)) から、もしくは次のQRコードにアクセスしていただき、ご回答をお願い

いたします。ご回答いただいた皆さまには、同誌発刊後、特集記事のPDF版を回答時に登録されたメールアドレスにお送りさせていただきます。アンケート回答にはメールアドレスの入力が必要ですが、このPDF版の送付以外の目的に使用することはございません。ご希望者には、冷凍・解凍機器メーカーの担当者をご紹介しますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



## 滝沢ハムの第2四半期決算は増収減益、食肉の売上は堅調

滝沢ハムが12日に発表した2025年3月期第2四半期連結業績によると、消費の低迷と販売競争が激化したものの、食肉の売上げが堅調に推移し、売上高は139億6800万円(前年同期比0.7%増)となった。損益面については、価格改定やコスト削減により、原材料価格の高騰を吸収しようと努めたが、営業損失2億2100万円(前年同期は営業利益3900万円)、経常損失2億700万円(経常利益5600万円)、親会社株主に帰属する中間純損失2億8900万円(親会社株主に帰属する中間純利益4300万円)となった。

同社グループでは安全・安心な商品の安定供給を引き続き図ってきた。加工品販売では5月に価格改定を実施し、取引先企業別対応により販売数量の増加を図るとともに個別商談会を実施。また、原価低減と生産性向上を図りコスト削減に努めるとともに、食肉では仕入先の見直しや生産ラインの見直しなどを進めてきた。

セグメント別にみると、「食肉加工品部門」は、ハム・ソーセージなどの販売数量が減少し、売上高は

53億2700万円(3.9%減)。「総菜その他加工品部門」は、CVS向け総菜の売上げが減少したが、ハンバーグ類の売上げが堅調に推移。売上高は26億4千万円(1.7%増)となった。

また、「食肉部門」は国産および輸入豚肉が減少したが、国産および輸入牛肉ならびに1次加工品が増加。売上高は59億5200万円(5.1%増)となった。

なお、同社では最近の業績動向を踏まえ、5月14日に公表した業績予想を修正。通期連結業績予想については、売上高288億円(前回発表予想290億円)、営業損失1億3千万円(営業利益1億9千万円)、経常損失1億200万円(経常利益2億2500万円)、親会社株主に帰属する当期純損失2億2200万円(親会社株主に帰属する当期純利益1億7千万円)にそれぞれ下方修正した。

今中間連結会計期間の売上高は、物価の上昇による消費の低迷と販売競争の激化から予想を下回った。各段階利益においても価格改定やコスト削減に努めたが、原材料価格の高騰によるコストアップ要因を吸収し切れず、前回予想を下回った。

## 東京で松阪牛共進会、最優秀賞1席は伊藤牧場、中村畜産が購買

第67回松阪肉牛枝肉共進会が11日、東京食肉市場で開催され、黒毛和牛の雌48頭が出場した。審査の結果、最優秀賞1席に輝いたのは(有)伊藤牧場(写真右)の出品牛(父「丸若土井」、母の父は「千代藤土井」)で、月齢47カ月と肥育期間が長く、枝肉重量は427kg、格付A5、BMSNo.12、ロース芯面積72cm<sup>2</sup>、バラの厚さ8.0cm、歩留まり基準値76.4%と質量ともに優れた成績となり、(株)中村畜産(写真左)がキロあたり2万51円で購買した。

そのほか、最優秀賞牛の出品者(牛成績、購買者)は次のとおり。格付はすべてA5。



最優秀賞2席 伊藤牧場(月齢57カ月、BMSNo.10、枝肉重量426kg、単価8千円、購買者=(株)吉澤畜産)、3席 (株)堀坂(37カ月、No.12、504kg、7千円、同)、4席 同(38カ月、No.12、475kg、6044円、(株)ミートナイトウ)、5席 堀久文(44カ月、No.11、437kg、6038円、吉澤畜産)、6席 なかお畜産(株)(33カ月、No.12、511kg、4806円、エスフーズ(株))、7席 藤原武久(43カ月、No.8、445kg、4664円、吉澤畜産)、8席 吉田行良(33カ月、No.12、512kg、4482円、乙川畜産食品(株))

[資料]2024年9月分の食肉輸入通関実績<sup>⑬</sup>

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE

の) (その他のもの)

R KOREA	103 KG	-	-	72841	41188
CHINA	105 KG	19968	10368	286761	191052
THAILND	111 KG	9200	16662	103434	175248
SNGAPOR	112 KG	-	-	4311	11088
PHILPIN	117 KG	-	-	411	281
DENMARK	204 KG	735144	429292	7243441	4192585
IRELAND	206 KG	406992	249453	3812228	2224821
NETHLDS	207 KG	-	-	42860	25334
SPAIN	218 KG	32860	19156	703595	383937
CANADA	302 KG	1142780	648097	11447160	6348043
USA	304 KG	6000760	3408805	52182523	29186555
MEXICO	305 KG	660160	388468	7079920	3915689
CHILE	409 KG	648000	365670	7881150	4174817
AUSTRAL	601 KG	-	-	3110	17522
TOTAL	990 KG	9655864	5535971	90863745	50888160
(E. U)	991 KG	1174996	697901	11802124	6826677

1602. 49-100 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、  
くず肉及び血(豚のもの)(肩肉、もも肉を除く。)(混  
合物を含む。)(腸、ぼうこう又は胃の全形のもの及び  
断片(単に水煮したもの))

MEXICO	305 KG	11460	2654	68985	18821
BRAZIL	410 KG	10992	5287	122952	60902
TOTAL	990 KG	22452	7941	191937	79723

1602. 49-210 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、  
くず肉及び血(豚のもの)(肩肉及びもも肉を除  
く。)(ハム及びベーコン(滅菌したものを除く。))、  
プレスハム(豚の肉又はくず肉及びつなぎから成る  
ものに限る。)並びにその他の調製をし又は保存に  
適する処理をした物品で豚の肉又はくず肉(1個の  
重量が10g以上のものに限る。)のみから成るも  
の(課税価格が1kgにつき豚肉加工品に係る分岐点  
価格以下のもの)

DENMARK	204 KG	71939	61985	504840	435293
TOTAL	990 KG	71939	61985	504840	435293
(E. U)	991 KG	71939	61985	504840	435293

1602. 49-220 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、  
くず肉及び血(豚のもの)(肩肉及びもも肉を除  
く。)(ハム及びベーコン(滅菌したものを除く。))、  
プレスハム(豚の肉又はくず肉及びつなぎから成る  
ものに限る。)並びにその他の調製をし又は保存に  
適する処理をした物品で豚の肉又はくず肉(1個の  
重量が10g以上のものに限る。)のみから成るも  
の(課税価格が1kgにつき豚肉加工品に係る分岐点  
価格を超えるもの)

CHINA	105 KG	27001	37362	313612	465465
TAIWAN	106 KG	7060	11257	87207	131263
THAILND	111 KG	12797	18653	189934	268807
SNGAPOR	112 KG	-	-	8909	21104
NETHLDS	207 KG	9783	15767	20547	33290
FRANCE	210 KG	1253	2759	11272	23394
GERMANY	213 KG	-	-	1581	1865
SPAIN	218 KG	-	-	33260	38829
ITALY	220 KG	907	1168	5502	9015
AUSTRIA	225 KG	-	-	5933	15764
CANADA	302 KG	1764	1860	29351	38761
USA	304 KG	19274	40924	250203	672636
TOTAL	990 KG	79839	129750	957311	1720193
(E. U)	991 KG	11943	19694	78095	122157

1602. 49-290 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、  
くず肉及び血(豚のもの)(肩肉、もも肉を除く。)(そ  
他のもの)

R KOREA	103 KG	-	-	41697	25011
CHINA	105 KG	580346	363101	6358376	3669699
TAIWAN	106 KG	1006	406	27558	11879
THAILND	111 KG	101569	135107	953005	1278472
SNGAPOR	112 KG	-	-	12168	11733
PHILPIN	117 KG	720	755	1962	2468
DENMARK	204 KG	473431	293461	3377948	2104116
NETHLDS	207 KG	13785	12536	76453	72098
FRANCE	210 KG	2411	6219	18659	37478
GERMANY	213 KG	-	-	6912	15849
SPAIN	218 KG	3000	3399	14480	17307
ITALY	220 KG	4285	4109	4285	4109
USA	304 KG	1205164	773976	17937755	13372527
MEXICO	305 KG	108437	77606	763582	511017
BRAZIL	410 KG	-	-	6348	2462
AUSTRAL	601 KG	12	338	6908	26726
TOTAL	990 KG	2501591	1674322	29608096	21162951
(E. U)	991 KG	496912	319724	3498737	2250957

1602. 50-100 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、  
くず肉及び血(牛のもの)(腸、ぼうこう又は胃の全  
形のもの及び断片(単に水煮したもの))

USA	304 KG	197771	92280	3352880	1532217
MEXICO	305 KG	-	-	11483	14164
CHILE	409 KG	582	215	6596	2565
AUSTRAL	601 KG	-	-	198832	74205
TOTAL	990 KG	198353	92495	3569791	1623151

1602. 50-291 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、  
くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌)(単に水煮し  
たもの(気密容器入りのもの(野菜を含むもの)を  
除く。))

BRAZIL	410 KG	-	-	10564	11048
TOTAL	990 KG	-	-	10564	11048

1602. 50-320 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、  
くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量  
の合計が全重量の30%未満のもの)(気密容器入りの  
もの(野菜を含むもの))(米を含むものを除く。))

R KOREA	103 KG	-	-	4260	2177
MALYSIA	113 KG	-	-	744	1015
TOTAL	990 KG	-	-	5004	3192

1602. 50-339 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、  
くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量  
の合計が全重量の30%未満のもの)(米を含むも  
の)(気密容器入りのものを除く。)(野菜を含むもの  
を除く。))

AUSTRAL	601 KG	7200	6401	98861	87284
TOTAL	990 KG	7200	6401	98861	87284

1602. 50-390 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、  
くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量  
の合計が全重量の30%未満のもの)(その他のもの)

R KOREA	103 KG	-	-	3588	1647
CHINA	105 KG	45252	31888	352191	269423
TOTAL	990 KG	45252	31888	355779	271070

1602. 50-510 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、  
くず肉及び血(牛のもの)(調味した後に乾燥したも  
の)(気密容器入りのもの)(冷蔵及び冷凍のいずれ  
もしていないもの)

NEWZELD	606 KG	5643	27045	66763	323461
TOTAL	990 KG	5643	27045	66763	323461

1602. 50-590 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、  
くず肉及び血(牛のもの)(調味した後に乾燥したも  
の)(気密容器入りのものを除く。))

CHINA	105 KG	1915	9533	13139	69787
-------	--------	------	------	-------	-------

(単位: 1,000 円、UNIT: ¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE

R KOREA	103 KG	7425	3309	41697	25011
CHINA	105 KG	580346	363101	6358376	3669699
TAIWAN	106 KG	1006	406	27558	11879
THAILND	111 KG	101569	135107	953005	1278472
SNGAPOR	112 KG	-	-	12168	11733
PHILPIN	117 KG	720	755	1962	2468
DENMARK	204 KG	473431	293461	3377948	2104116
NETHLDS	207 KG	13785	12536	76453	72098
FRANCE	210 KG	2411	6219	18659	37478
GERMANY	213 KG	-	-	6912	15849
SPAIN	218 KG	3000	3399	14480	17307
ITALY	220 KG	4285	4109	4285	4109
USA	304 KG	1205164	773976	17937755	13372527
MEXICO	305 KG	108437	77606	763582	511017
BRAZIL	410 KG	-	-	6348	2462
AUSTRAL	601 KG	12	338	6908	26726
TOTAL	990 KG	2501591	1674322	29608096	21162951
(E. U)	991 KG	496912	319724	3498737	2250957

1602. 50-100 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、  
くず肉及び血(牛のもの)(腸、ぼうこう又は胃の全  
形のもの及び断片(単に水煮したもの))

USA	304 KG	197771	92280	3352880	1532217
MEXICO	305 KG	-	-	11483	14164
CHILE	409 KG	582	215	6596	2565
AUSTRAL	601 KG	-	-	198832	74205
TOTAL	990 KG	198353	92495	3569791	1623151

1602. 50-291 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、  
くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌)(単に水煮し  
たもの(気密容器入りのもの(野菜を含むもの)を  
除く。))

BRAZIL	410 KG	-	-	10564	11048
TOTAL	990 KG	-	-	10564	11048

1602. 50-320 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、  
くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量  
の合計が全重量の30%未満のもの)(気密容器入りの  
もの(野菜を含むもの))(米を含むものを除く。))

R KOREA	103 KG	-	-	4260	2177
MALYSIA	113 KG	-	-	744	1015
TOTAL	990 KG	-	-	5004	3192

1602. 50-339 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、  
くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量  
の合計が全重量の30%未満のもの)(米を含むも  
の)(気密容器入りのものを除く。)(野菜を含むもの  
を除く。))

AUSTRAL	601 KG	7200	6401	98861	87284
TOTAL	990 KG	7200	6401	98861	87284

1602. 50-390 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、  
くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量  
の合計が全重量の30%未満のもの)(その他のもの)

R KOREA	103 KG	-	-	3588	1647
CHINA	105 KG	45252	31888	352191	269423
TOTAL	990 KG	45252	31888	355779	271070

1602. 50-510 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、  
くず肉及び血(牛のもの)(調味した後に乾燥したも  
の)(気密容器入りのもの)(冷蔵及び冷凍のいずれ  
もしていないもの)

NEWZELD	606 KG	5643	27045	66763	323461
TOTAL	990 KG	5643	27045	66763	323461

1602. 50-590 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、  
くず肉及び血(牛のもの)(調味した後に乾燥したも  
の)(気密容器入りのものを除く。))

CHINA	105 KG	1915	9533	13139	69787
-------	--------	------	------	-------	-------

# 東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 11月12日  
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,926	3,284	2,269	-	-
		安値	2,276	2,215	2,162	-	-
		平均	2,772	2,417	2,222	1,922	-
	90頭	頭数	53	27	9	1	-
	雌 B	高値	-	2,253	-	-	-
		安値	-	2,253	-	-	-
		平均	-	2,253	-	-	-
	1頭	頭数	-	1	-	-	-
	去 A	高値	3,248	2,527	2,274	-	-
		安値	2,377	2,218	2,057	-	-
		平均	2,624	2,378	2,183	1,936	-
		178頭	頭数	103	45	29	1
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
-頭	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	12頭	平均	-	1,886	1,605	1,516
		頭数	-	1	8	3	-
	雌 C	-頭	平均	-	-	-	-
	頭数	-	-	-	-	-	
	去 B	62頭	平均	-	1,744	1,627	1,507
頭数	-	10	35	17	-		
去 C	3頭	平均	-	-	1,541	1,455	
頭数	-	-	1	2	-		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	430 429	1,006 1,081	- 73.5	(競り)	(相対)	69

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和雌 A	高値	2,585	2,108	1,481	1,253	-
	安値	-	-	1,488	1,263	-
和去 A	高値	2,102	2,214	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
乳雌 B	平均	-	-	-	870	866
	平均	-	-	-	-	841
乳去 B	平均	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
交雌 B	平均	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
交去 B	頭数	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	795	812	634	583	541
	安値	562	540	530	454	278
	平均	632	561	553	529	498
	頭数	( 10)	(388)	(419)	(166)	( 98)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
相対	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)

[大阪食肉卸売市場] 11月12日  
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [ ] は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和雌 A	2,441	2,166	-	-	-
(頭数)	( 14)	( 4)	( 4)	( 2)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( 1)	( 1)	( -)
和去 A	2,481	2,141	-	-	-
(頭数)	( 22)	( 15)	( -)	( -)	( -)
B	-	-	1,875	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( 2)	( -)	( -)
乳去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	-	1,685	-	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	1,739	1,614	1,530	-
C	-	1,647	-	-	-
豚	-	598	526	398	478

[全国と畜概算頭数]  
農水省統計部発表 (頭)

	11月12日	11月11日	(11月累計)
豚	69,900	68,200	484,700
成牛計	5,220	5,130	34,450
和牛雌	1,170	1,250	8,580
和牛去勢	1,410	1,510	9,080
乳牛雌	860	430	5,270
乳牛去勢	570	490	3,480
交雑雌	560	600	3,720
交雑去	600	830	4,220

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 11月12日

	1,567円	(前日 1,529円)
東京		
大阪	1,623円	(前日 1,630円)

[豚・全農建値] 11月12日

上	中	取引頭数	市況
563円	548円	924頭	急落

と畜 売買	牛 91頭	豚 148頭	牛概況	もちあい
	牛 104頭	豚 113頭	豚概況	もちあい

# 各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 11月12日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	616 ( 626 )	- ( - )	6,148	-	下落
仙台 [中]	617 ( 582 )	567 ( 538 )	472	77	反発
宇都宮 [地]	- ( 567 )	- ( 545 )	-	-	休市
茨城 [地]	575 ( 570 )	555 ( 561 )	1,331	718	小反発
群馬 [地]	560 ( 543 )	505 ( 472 )	2,365	441	続伸
さいたま [中]	558 ( 557 )	544 ( 546 )	254	254	もちあい
東京 [中]	561 ( 547 )	553 ( 546 )	1,006	1,081	上伸
横浜 [中]	562 ( 587 )	541 ( 553 )	654	658	続落
山梨 [地]	639 ( - )	606 ( - )	185	102	続伸
浜松 [地]	539 ( 556 )	464 ( 491 )	317	37	続落
名古屋 [中]	577 ( 597 )	553 ( 559 )	988	287	続落
京都 [中]	621 ( 610 )	595 ( 579 )	117	104	もちあい
大阪 [中]	598 ( 599 )	526 ( 525 )	148	113	もちあい
神戸 [中]	633 ( - )	641 ( - )	-	154	-
岡山 [地]	680 ( 668 )	643 ( 681 )	281	295	強気配
広島 [中]	588 ( 588 )	547 ( 547 )	232	101	もちあい
福岡 [中]	579 ( 589 )	544 ( 574 )	562	106	続落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 11月5日～11月11日  
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,637,666 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,134	1,237	1,271	1,223	78,385
うで	734	810	839	802	135,248
ロース	1,080	1,134	1,244	1,146	165,629
ばら	1,176	1,274	1,353	1,271	155,255
もも	745	800	824	792	188,027
ヒレ	1,105	1,105	1,257	1,126	18,514
セット	941	1,037	1,081	1,029	896,608

◇近畿圏 総重量 790,272 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,166	1,272	1,319	1,269	61,551
うで	697	740	810	746	127,324
ロース	1,058	1,166	1,240	1,161	112,567
ばら	1,240	1,275	1,319	1,271	138,563
もも	702	734	786	732	185,911
ヒレ	1,188	1,285	1,339	1,277	11,195
セット	899	972	1,068	989	153,161

[食鳥正肉日経相場] 11月11日  
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (7社) ※木曜日は休載

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	643	689	797	168
ムネ	360	394	500	129

◇大阪 (3社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	647	707	990	8
ムネ	361	416	550	7

[農水省統計情報部食鳥市況] 11月11日  
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	940	603	550	600	650
安値	655	370	290	360	350
平均	698	401			

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉に関する**最新**のニュースを、どこよりも**早く**お届け!

# 日刊食肉速報

## 2024年11月、リニューアル!

A4版にリニューアルして更に見やすくなりました。

また、紙媒体だけでなく、新設されたWEBページでいつでも手軽に情報チェックが可能に。

食肉関連の行政、業界の動向をはじめ、国産と輸入の相場市況、企業情報など、これからは鮮度の高い日々の業界ニュースをお届けいたします。

**紙媒体**

A4版に  
サイズUP!



**WEB  
サービス版**

手軽に情報チェック!  
バックナンバーも  
探しやすい!



購読料は  
そのまま!



仕様 | 11ページ  
(表紙)カラー (中面)モノクロ  
発行 | 月曜から金曜(祝祭日を除く)  
購読料 | 1カ年 82,080円(税・送料込)  
6カ月 42,120円(税・送料込)

\*写真はイメージです。

## 広告スポンサー募集

### 日刊だからこそ、効率的なタイミングでPR!

業界紙として70年の歴史をもつ信頼性の高い本紙にて、広告を出しませんか?  
広告サイズは幅広く対応可能です。ぜひ、貴社のビジネスにお役立てください。

イベント情報など  
スポット告知に最適

ターゲットを絞った  
訴求力の高さ

70年の歴史をもつ  
信頼性の高い業界紙

● 購読・広告掲載に関するお問い合わせ ●

東京支社 ☎ 03-3663-2011 ✉ mail@shokuniku.co.jp

株式会社 食肉通信社